

第 69 回全日本剣道選手権大会宮城県予選会
兼第 68 回宮城県剣道選手権大会
大会要項

- 1 主 催 河北新報社 一般財団法人宮城県剣道連盟
- 2 後 援 宮城県・宮城県教育委員会・(公財)宮城県スポーツ協会
- 3 主 管 宮城郡剣道連盟
- 4 期 日 令和 3 年 6 月 13 日 (日) 午前 10 時 30 分開会
- 5 会 場 利府町総合体育館
宮城郡利府町青山 1 丁目 57-2 電話 022-356-6019
- 6 参 加 資 格 (1) 宮城県剣道連盟の会員であること。
(2) 満年齢 20 歳以上とし、段位の制限はしない。
(年齢計算は、今大会前日の令和 3 年 11 月 2 日を基準とし、平成 13 年 11 月 2 日以前に生まれた者)
(3) 予選会出場は一か所とする。違反した者は出場を取り消す。
予選会出場者は、令和 3 年 4 月 30 日以前から本大会参加時まで、引き続き宮城県剣道連盟の登録会員であること。
- 7 参 加 料 1 人 1,000 円とし、申込みと同時に現金書留にて納入すること。
- 8 試 合 方 法 (1) 全日本剣道連盟の剣道試合・審判規則・審判細則・運営要領、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインに記載の試合方法による。(全剣連ホームページ参照)
(2) トーナメント方式による試合とする。
(3) 試合は 3 本勝負、試合時間は 5 分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に 1 本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は 3 分区切りで、勝敗の決するまで継続する。
- 9 日 程 (1) 開館・受付 9:30~10:00 (4) 開会式 10:30~
(2) 審判会議 10:00~ (5) 試合
(3) 選手打合せ 10:15~ (6) 閉会式
- 10 表 彰 優勝者には河北杯及び遠藤杯を贈り、第 3 位まで表彰する。
- 11 申 込 方 法 所定の申込書に記入し、各市郡連ごと下記の宛先に送付すること。
〒982-0845 仙台市太白区門前町 2-1
一般財団法人宮城県剣道連盟事務局宛
Tel 022-746-8461 Fax 022-746-8462
- 12 申 込 期 日 令和 3 年 5 月 28 日 (金) 必着
- 13 剣道用具の取り扱いについて
本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下のとおり取り扱うこととする。
(1) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。(「15.安全管理」参照)
(2) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。
●竹刀の長さ(全長・先革長)、重さ、太さ(先革先端対辺直径値および先端より 8cm のちくとう部対角直径値)は、表 1、表 2 および図のとおりとする。

- ピース(四つ割り竹)の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更したものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕(肘から手首の最長部)の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手腕部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ぶとん部のえぐり(クリ)の深さについては小手ぶとん最長部と最短部の長さが2.5 cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
 - 面ぶとんは安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。(構えたときに肘関節が隠れること)

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最小直径	ちくとう最小直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	21ミリメートル以上

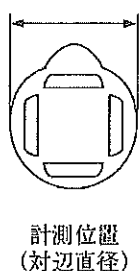
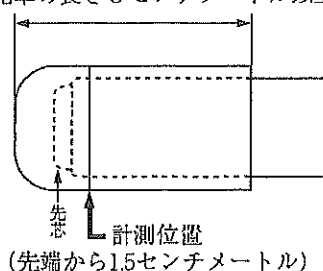
表2 二刀の場合の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最小直径	ちくとう最小直径
大刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	20ミリメートル以上
小刀	62センチメートル以下	280~300グラム	24ミリメートル以上	19ミリメートル以上

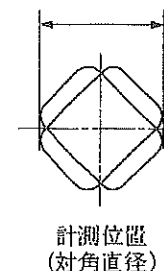
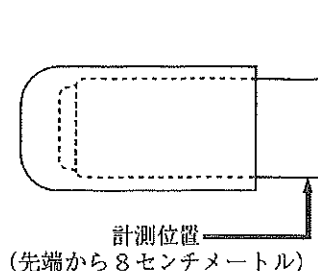
図 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



14 ドーピング検査の実施について

本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。本大会出場者は、大会に申し込みした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとする。

本大会出場者は、本大会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピン

グ規程違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規程違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。

日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

また、アンチ・ドーピング規程に違反した場合の制裁等の内容に不服の場合、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構に仲裁を付託し、その判断に従うこと。

15 安全管理 出場者は、各自十分健康管理に留意し本大会に出場すること。また、出場選手は健康保険証を持参すること。

出場者は、本大会での使用用具を事前に確認し、別紙「剣道用具確認証」を、竹刀計量・検査時に提出すること。

16 その他 (1) 災害・事故が起きた場合、実施本部で応急処置をするが、他の責任は持たない。
(2) 本連盟の会員で県外在住者が参加する場合は大会 2 週間前から本県に滞在すること。困難な場合は大会前に PCR 検査を受け陰性であることを確認すること。
(3) 出場選手は、主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインに従い鼻と口を確実に覆う面マスク及び口元を覆うシールドを着用すること。
(4) 別紙「大会参加上の注意事項(必読)」を確認し、必要書類を提出すること。
(5) 大会日当日に自宅で検温を行い、選手確認票に記入の上、受付に提出すること。
(6) 別紙「剣道用具確認証」を竹刀検査時に提出すること。
(7) 今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により、大会が中止又は試合方法が変更になることもありえますので、ご承知おきください。
(8) 提出書類は宮城県剣道連盟ホームページからダウンロードできます。
(9) 参加選手は、紅白の目印(全長 70 cm幅 5 cm)を持参すること。
(10) 参加選手は、市郡名もしくは所属名(横書き)と姓(縦書き)を記した布製の名札を垂につけること。
(11) 組み合わせは県剣道連盟事務局で行う。
(12) 本大会の優勝者は、全日本選手権大会の宮城県代表者とする。
(13) 選手・役員及び大会関係者以外は入場できません。
(14) 個人情報、大会の目的以外に使用しません。

第 69 回全日本剣道選手権大会宮城県予選会
兼第 68 回宮城県剣道選手権大会参加申込書

番号	姓 名	称号・段位	生年月日（年齢）	職業（学校名）
1			()	
2			()	
3			()	
4			()	
5			()	
6			()	
7			()	
8			()	
9			()	
10			()	

令和 年 月 日
以上 名分 () 円) を添えて申し込みます。
(※参加料と申込書を同封の上、現金書留にてお申し込みください。)

申込〆切：令和 3 年 5 月 28 日（金）必着

剣道連盟

大会参加上の注意事項（必読）

【申込にあたっての注意事項】

- (1) 参加選手は、日常の感染防止に努め、2週間前からは多人数での会食やイベント等の参加を自粛して下さい。
- (2) 基礎疾患のある方は出場できません。（基礎疾患とは糖尿病・心不全・慢性閉塞性肺疾患・透析を受けている方・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）を指します。
※これらのものが理由で出場する場合は、主治医の承認を得るものとする。

【大会日当日の注意事項】

- (1) 大会日当日に自宅で検温を行い、選手確認票に記入の上、受付に提出すること。
 - ①発熱のある方（個人差はあるが、37.5度以上を指します）、咳・咽頭痛など風邪のような症状のある方、その他体調の良好でない方
 - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる方
 - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある方
 - ④過去14日以内に県外から移動がある方。※上記①～④に該当される方は出場できません。但し④の該当者でPCR検査が陰性であった方は申し出てください。
- (2) 参加者は面マスク又は家庭用マスクを持参し、会場への移動時・会場での待機時にはマスク着用を必須とします。
- (3) 場内では人と人との距離を最低でも1メートル、可能な限り2メートル程度保つこと。
- (4) 参加者は当日会場で改めて体温測定を行います。37.5度以上ある方は入場できません。
- (5) 更衣室の密接を避けるため、お互いに配慮すること。また、できるだけ自宅で剣道着・袴に着替えて入場すること。
- (6) 会場へは選手及び大会関係者以外入場できません。新型コロナウイルス感染症対策に伴い、見学・付き添い引率者は入場をお断りいたします。
- (7) 健康の安全に対する対策を各自でお願いします。飲み物等を準備し、こまめな水分補給を行って下さい。飲み回しや容器の使い回しをしないこと。ゴミは各自持ち帰ること。
- (8) 手指消毒等を十分に行い、新型コロナウイルス感染症への対策を取ること。

第 69 回全日本剣道選手権大会宮城県予選会兼第 68 回宮城県剣道選手権大会
第 60 回全日本女子剣道選手権大会宮城県予選会兼第 38 回宮城県女子剣道選手権大会
選手（役員・審判員）確認票

※下記の項目を確認のうえ、受付に提出してください。□にレを記入のこと

1. 今朝の体温 _____ 度 ※検温していない場合は受付に申し出てください
2. 基礎疾患の有無（基礎疾患とは糖尿病・心不全・慢性閉塞性肺疾患・透析を受けている方・免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方）

ある ない

3. 咳・咽頭痛など風邪のような症状

ある ない

4. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる

ある いない

5. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされてる国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

ある ない

※体温が 37.5 度以上ある方、上記 2～5 に該当される方は受審できません。

【個人情報の取り扱いについて】 下記の目的以外使用しません。

1. 新型コロナウイルス感染者が発生した際に、接触者特定の目的のために利用することに

同意する 同意しない

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国や宮城県、全日本剣道連盟から個人情報の開示を求められた場合に個人情報の提供を行うことに

同意
する 同意しない

3. 剣道の普及発展のためにマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することに

同意する 同意しない

令和 年 月 日

氏 名 _____

住 所 _____ 連絡先電話番号 _____

審判主任	試合場主任	検査所責任者

剣道用具確認証

一般財団法人宮城県剣道連盟会長 殿

本大会の出場にあたり、使用する用具について、「剣道試合・審判規則」および「大会要項」に
即し、下記項目の確認いたしました。

日付：_____年____月

所 属：_____

選手氏名：_____ 印

記

1) 竹刀関連：検査本数：合計_____本（大会検査所提出本数）

- 竹刀の長さ（全長）が適正
- 竹刀の重さが適正
- 竹刀の先革先端部の太さ（対辺）が適正
- 先から 6.5cm 部分のちくとう部の太さ（対角）が適正
- 先革の長さが適正
- 中結の位置（＝全長の約 1/4）が適正
- 各ピース（竹）の間の隙間がない
- 破損・ささくれはない
- 不当な付属品を使用していない
- 安全性を著しく損なう加工・形状変更をしていない

2) 小手関連

- こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部））の 1/2 以上 を保護している
- 小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さは小手ふとん部最長部との差が 2.5cm 以内である
- 小手頭部・小手ふとん部の衝撃緩衝能力がある

3) 面関連

- 肩関節の保護ができる布団の長さが確保されている
- 面ふとん部の衝撃緩衝能力がある

4) 剣道着関連

- 袖の長さについて、肘関節の保護ができる（構えたときに肘関節が隠れること）

以上